

教室たより

2020年3月

この冬は暖かく、つばみや虫たちはいつもより早めの春支度。伊予路に春を呼ぶ椿さんもびっくりして急いで準備。お祭りも無事に終わり、看板娘のお多福さんもホッと一息ついたところでしょう。

教室では1月から描き始めた「押絵羽子板」の作品がやっと出来上がり。晴れてお披露目でございます！

- ・羽子板の起源…古くは室町時代より「邪気を跳ね返す板」として女の子の健やかな成長を願う風習からきているそうです。
- ・江戸時代に入り、歌舞伎役者などをかたどった押絵羽子板が流行したようです。(以下①道成寺、②藤娘、③弁慶)
- ・羽の黒い実(無患子)…ムクロジ科。実の殻を割ると15mm位の黒い実があり、種子は黒色で堅く、羽根突きの羽の軸の玉に使われ、子供の無病息災を祈る意味があります。



稲田 璃子(年少) ①



金山 心成(年少) ③



松尾 和香那(年中) ①



門屋 遥希(年長) ③



佐伯 美来(年長) ①



新田 真奈美(3年) ②



大川 凌平(3年) ③



宮脇 愛実(3年) ②



長友 将人(4年) ③



伊与田 建樹(4年) ②



今年はネズミの当たり年! 12年に一度の大はしゃぎ!



~絵本を読んで~ 「ライオンとネズミ」、「ネズミのよめい」、「ネズミのすもう」



重松 美裕(年中)



井門 杏奈(年長)



谷 遼太(1年)



二宮 雪乃(2年)



堀上 千達(年中)



酒井 夢央(年長)



栗田 龍之介(年長)



船津 りりあ(年長)



北谷 優奈(1年)



東雲児童美術教室

E-mail: shinonome_kids_art@yahoo.co.jp

http://shinonome-kids.art.coocan.jp/